

熊本県

上天草市 トレッキング マップ



ナナメ上ノ
上天草。
NANAME-UE
KAMAMAKUSA

上天草市観光おもてなし課
〒869-3692 熊本県上天草市大矢野町上1514
TEL:0964-26-5512

TOURISM 大自然からの贈り物 特産

上天草のすばらしい自然環境の中で育まれた豊富な「海の幸」、「山の幸」

道の駅 上天草さんばーる

上天草市の新鮮な農産物と海産物を豊富に取り揃えた物産館。地元の新鮮な食材を使った料理も併設のレストランでお楽しみいただけます。

道の駅 上天草さんばーる (営業時間 8:00~18:00)
熊本県上天草市大矢野町中11582-24
TEL0964-58-5600 FAX0964-58-5602
http://www.sunpearl.jp/

SPA 極上のひとときを温泉

上天草の温泉が山登りで疲れた体を癒してくれます。

松島温泉 別名「美人の湯」と呼ばれ、神経痛・慢性消化器病・疲労回復・きりきず・慢性婦人病に効果があると言われています。

大矢野温泉 大矢野に湧き出す5つの温泉の総称を「大矢野温泉」といいます。特色ある温泉が幅広い年齢層の方々に好評をいただいています。

スパ・タラン天草 国内でも珍しい上天草市の美しい海を活かしたタランテラビー施設です。温かな海水でのアクティビティーやパーソナルケアを目的としたトリートメント、また天草陶石を使った露天風呂から眺める夕焼けは最高です。

住所/上天草市大矢野町上732番地14
温泉/大人500円 小人300円
10:00~22:00 (受付21:30まで)
プール/大人1,000円 小人500円
10:00~22:00 (受付21:00まで)
※休日は、毎月第2・第4火曜日です。(祝日の場合は、営業します)
TEL:0964-56-1126

温泉の問合せ 天草四郎観光協会
熊本県上天草市大矢野町中11582-36
TEL0964-56-5602
http://kami-amakusa.jp/

CLIMBING 絶景の大パノラマ 登山

アロマミツバツツジ

ハツチヨシシズク

白嶽

コースの特徴
観海アルプスの中ほどに位置する白嶽を周遊するコースは、白嶽の中腹にある白嶽森林公園キャンプ場まで車で行くことができるので、子供から大人まで気軽に山登りを楽しめます。白嶽山頂からの眺めは登山者にとりこぼしてしまふほどの美しき体力に自信のない人は、白嶽だけでもおススメ。周辺には、マウスボウの巨石群(ドルメン)や珍しい生物が観察できる湿地があります。

交通アクセス
(熊本市方面から) 国道266号線沿い、松島総合センター「アロマ」手前を姫戸・龍ヶ岳町方面に左折し、龍ヶ岳町方面に左折し約1キロ付近に案内標識あり。白嶽森林公園キャンプ場から徒歩15分。

龍ヶ岳 九州百名山 認定

コースの特徴
龍ヶ岳山頂を訪れた詩人の野口雨情は、「阿蘇や雲仙、霧島まで龍ヶ岳からひとながめ」とその絶景を詩にしたためている程。その他、山頂には50cmのカセグレン式反射型望遠鏡を備えた惑星はもろん、星雲、星図までもが観察できるミュージアム天文台やキャンプ場も完備されています。

交通アクセス
(熊本市方面から) 国道266号線沿い、松島総合センター「アロマ」手前を姫戸・龍ヶ岳町方面に左折し龍ヶ岳町に入るとすぐ案内標識あり。登山口から山頂まで車で約30分。

高舞登山 九州百名山 認定

コースの特徴
高舞登山は九州自然歩道の観海アルプスコースのスタート(ゴール)地点。展望台からは天草松島の美しい眺めを満喫できます。また、高舞登山からの夕陽は、日本夕陽百選に選ばれており、多くの写真愛好家が写真を撮りに訪れています。山頂近くに駐車場があるので車で登ることも出来ます。

交通アクセス
(熊本市方面から) 国道266号線沿い、松島総合センター「アロマ」手前を姫戸・龍ヶ岳町方面に左折し約1キロ付近に案内標識あり。登山口から山頂駐車場まで車で約5分。

次郎丸嶽・太郎丸嶽 九州百名山 認定

コースの特徴
次郎丸嶽と太郎丸嶽は兄弟嶽。標高の高い次郎丸嶽の方は、九州百名山にも選ばれており、九州内を中心に多くの登山愛好家が訪れています。山頂から眺める天草五橋や、天草島原の乱でキリシタン信者の代表が集まり作戦会議をした島として知られている湯島「談合島」をはじめとした有明海、不知火海に浮かぶ島々の美しさはまさに絶景です。

交通アクセス
(熊本市方面から) 国道324号線沿いの松島町今泉バス停から山頂まで徒歩約1時間。登山口に駐車場あり。

念珠岳

コースの特徴
観海アルプスコースの山の中で最も標高が高い念珠嶽。白嶽と龍ヶ岳の中間程に位置しています。短い距離ですが、歩道から山頂までは、樹林の急登を、細い木々に頼りながら登ることになります。

交通アクセス
山頂付近までは車で行くことは出来ないため、白嶽から龍ヶ岳側から九州自然歩道を歩いて登ることになります。

天草の山々はこうして形つくられました

- 1億年から3,500万年前の地層(沖積堆積物・新第三〜四紀・古第三紀・白亜紀)で天草の島々はできています。
- アジア大陸の縁から移動
- 1,500万年前に現在の位置に到達
- 褶曲や断層で形が変わる火成岩が地質に貫入する

有明海や八代海が今の姿になったのは約1万年前同時に天草諸島も今の形になった

天草上島東部の北面・南東方向の地質断面

アジア大陸の縁に位置していた天草諸島は、およそ1,500万年前に現在の位置に移動しました。それと前後して、水平方向からの力が作用して褶曲した地形が作られます。その後、褶曲の頂点(山の頂上)部分が地質密度の高まりで不安定なもろい状態であったため、風雨等により浸食を受けて逆に谷間を作りました。それはちょうど古い山の山頂付近が陥没して、残された後縁部分が新たな山頂として連なったような形で残されたのです。そのため諸島全体が緩やかな背斜・向斜構造をしています。その大部分は古第三紀系の砂岩などに被われています。これにはさむ形でアンモナイトや恐竜の化石を含む白亜紀層が、天草の東・西沿岸部にやや帯状に分布しています。さらに花崗岩、流紋岩(砥石・陶石)、石灰岩、蛇紋岩などの火成岩が貫入しました。

山登りの心得

晴れの日が安全です。

安全快適な登山のために

登山に無理は禁物です。登山時のスタイルにはこだわろう。

マイペースで登りましょう。あると便利なアイテム

くるぶしまで保護できる登山専用を。酸素スプレーや化繊素材の下着。